

第 1 章 自動車排出ガス対策

1 市場における大気環境の現状

中央卸売市場では、平成 19 年 2 月に大気環境測定調査を実施しました。

調査は、これまでも継続的に実施しており、前回は平成 17 年 1 月から 2 月にかけて実施しました。全市場（11 市場）40 箇所（前回調査箇所のうち、クリーンゾーンを除く同一箇所）で、市場の休市日を含む連続した 3 日間に、環境基準に定める 4 物質（下表に掲載）を測定し、その結果を環境基準や大気環境測定局の測定値、前回調査時の測定値と比較しました。

調査した 4 物質には次のような特徴があります。

調査物質	市場での発生源	性質・影響等
二酸化窒素 (NO ₂)	主として自動車 (燃料の燃焼)	・呼吸器疾患の原因 ・酸性雨及び光化学スモッグの原因物質
二酸化硫黄 (SO ₂)	主としてディーゼル 自動車(燃料の燃焼)	・呼吸器疾患の原因 ・酸性雨の原因物質
一酸化炭素 (CO)	主として自動車 (燃料の不完全燃焼)	・酸素欠乏による中毒の原因 (頭痛・意識障害等)
浮遊粒子状物質 (SPM)	主としてディーゼル 自動車(燃料の燃焼)	・粒子が細かく軽いため、大気中に滞留する ・呼吸器疾患の原因

(1) 市場別の環境基準達成状況

「環境基準」とは、環境基本法に基づく、大気汚染等から人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準です。

今回調査では全 11 市場のうち、7 市場は全ての測定物質、全ての地点で基準を達成していました。

環境基準の超過があった市場は、築地・淀橋・北足立・葛西の 4 市場で、超過物質の値と箇所数は次表のとおりです。

環境基準	二酸化窒素 (NO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)
市場	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの範囲内又はそれ以下であること	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること
築地市場	8箇所中5箇所 (1日平均値) 0.055~0.078ppm	8箇所中3箇所 (1日平均値) 1.5~23.2ppm (8時間平均値) 2.1~30.3ppm	
食肉市場			
大田市場			
豊島市場			
淀橋市場	3箇所中1箇所 (1日平均値) 0.038~0.063ppm		3箇所中1箇所 (1日平均値) 0.028~0.104mg/m ³
足立市場			
板橋市場			
世田谷市場			
北足立市場	3箇所中1箇所 (1日平均値) 0.046~0.061ppm		
多摩 NT 市場			
葛西市場	3箇所中1箇所 (1日平均値) 0.052~0.066ppm		
合計	11市場中4市場 40箇所中8箇所	11市場中1市場 40箇所中3箇所	11市場中1市場 40箇所中1箇所

※1日平均値とは、期間中(3日間)のうち、最も濃度が高くなった日の平均値。

※8時間平均値とは、24時間を8時間毎(0~8時、8~16時、16~24時)に区分した平均値。

築地・淀橋・北足立・葛西の各市場で環境基準を超えた地点は、卸・仲卸売場付近の閉鎖状態に近い場所や、駐車場などの車両の集中する場所です。

卸・仲卸売場付近では、取引前後の時間帯を中心に小型特殊自動車が集積して使用されているため、一酸化炭素の濃度が高い箇所がありました。また、車両の活動とともに測定物質の濃度が急激に上昇し、徐々に減少する傾向が現れています。これは狭隘であることや、取引物品などが高く積荷されるな

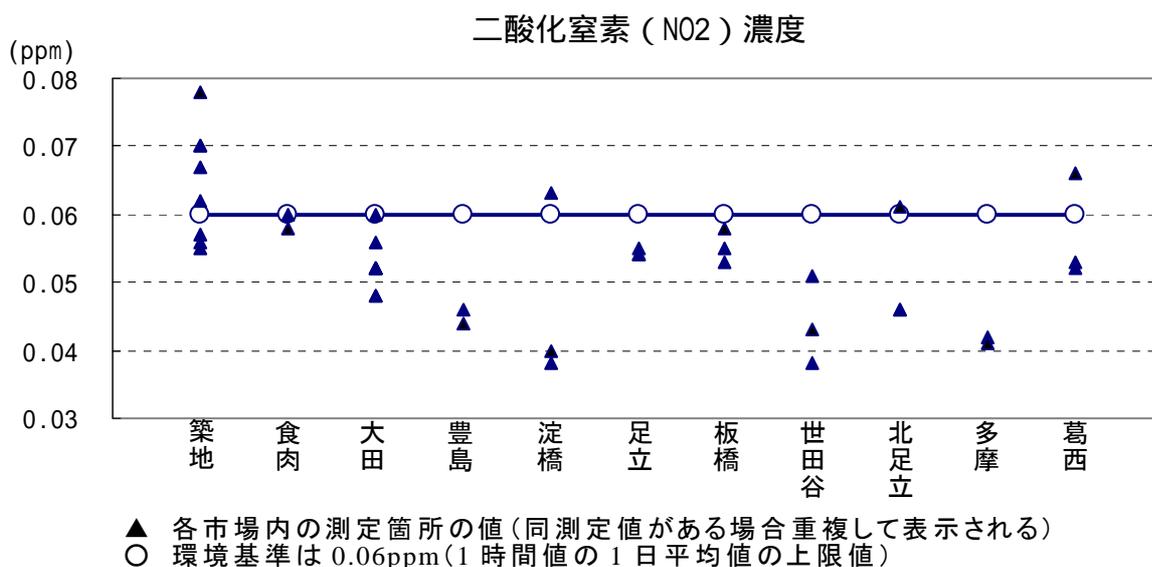
どの理由で空気の出入りが少なくなり、一旦排出されたガスが拡散されずに、高濃度のまま滞留しているためと考えられます。

市場の出入口等では、搬出搬入用の大型トラック車両が多く集中し、渋滞するため、窒素酸化物の濃度が高くなっています。また、ディーゼルトラックのアイドリングによって、浮遊粒子状物質の濃度も高くなっています。

各市場の4物質の測定値を、環境基準と比較した結果は次のとおりです。

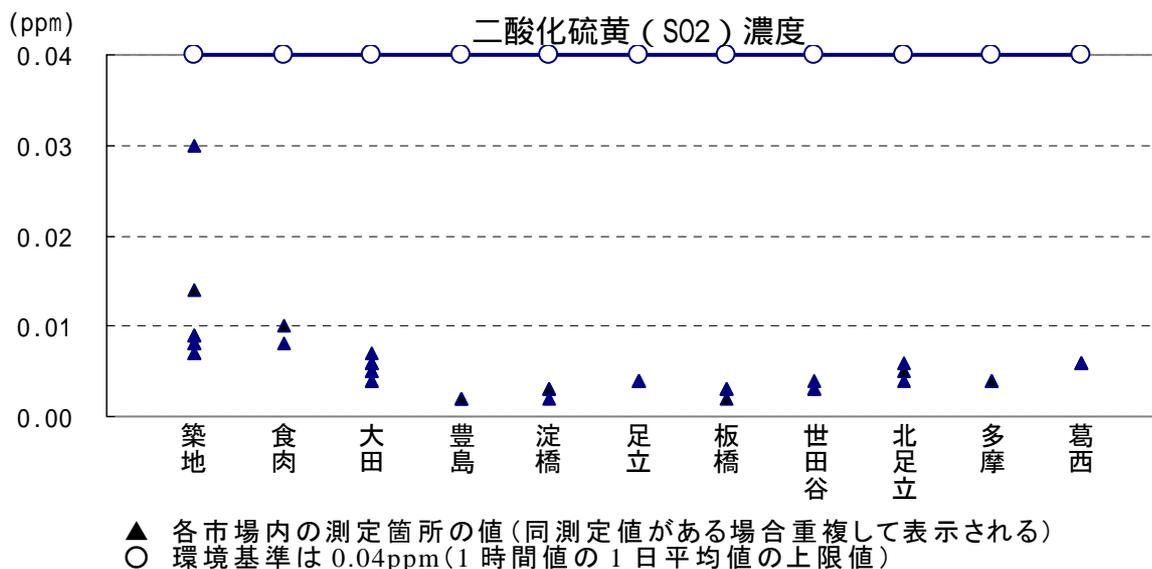
二酸化窒素 (NO₂)

築地市場、淀橋市場、北足立市場、葛西市場の17箇所中8箇所環境基準を超過していました。



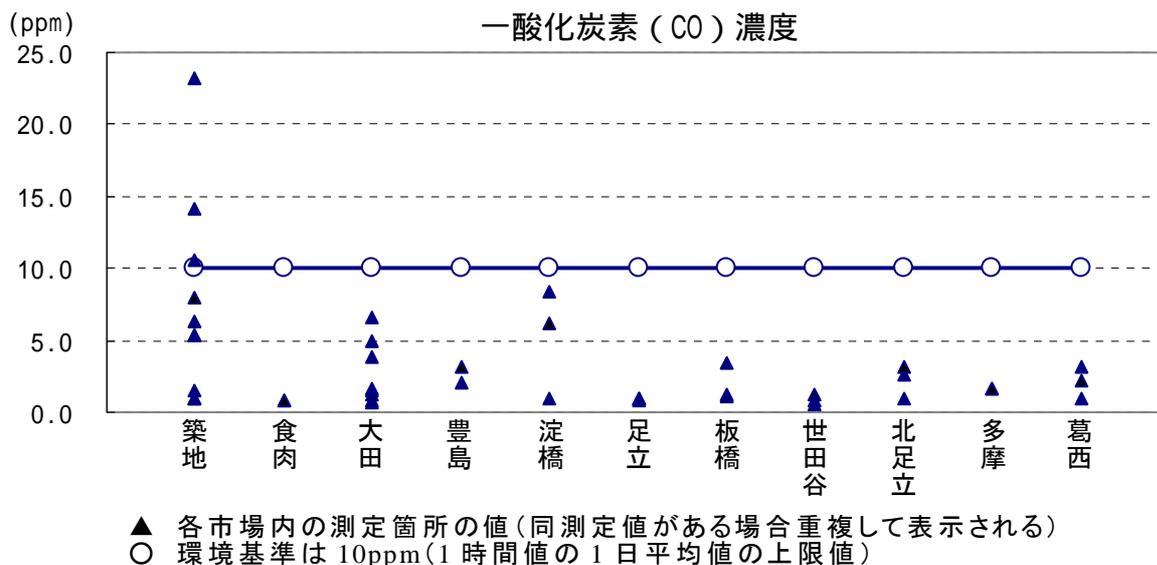
二酸化硫黄 (SO₂)

環境基準を超過した測定箇所はありませんでした。



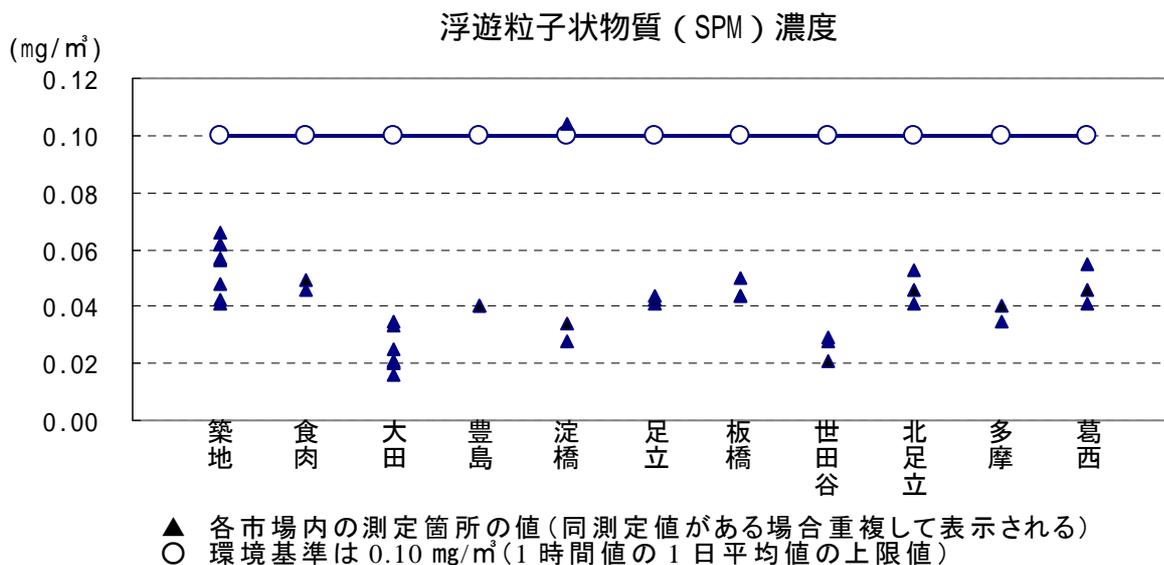
一酸化炭素 (CO)

築地市場で、8箇所中3箇所が環境基準を超過していました。



浮遊粒子状物質 (SPM)

淀橋市場で、3箇所中1箇所が環境基準を超過しました。



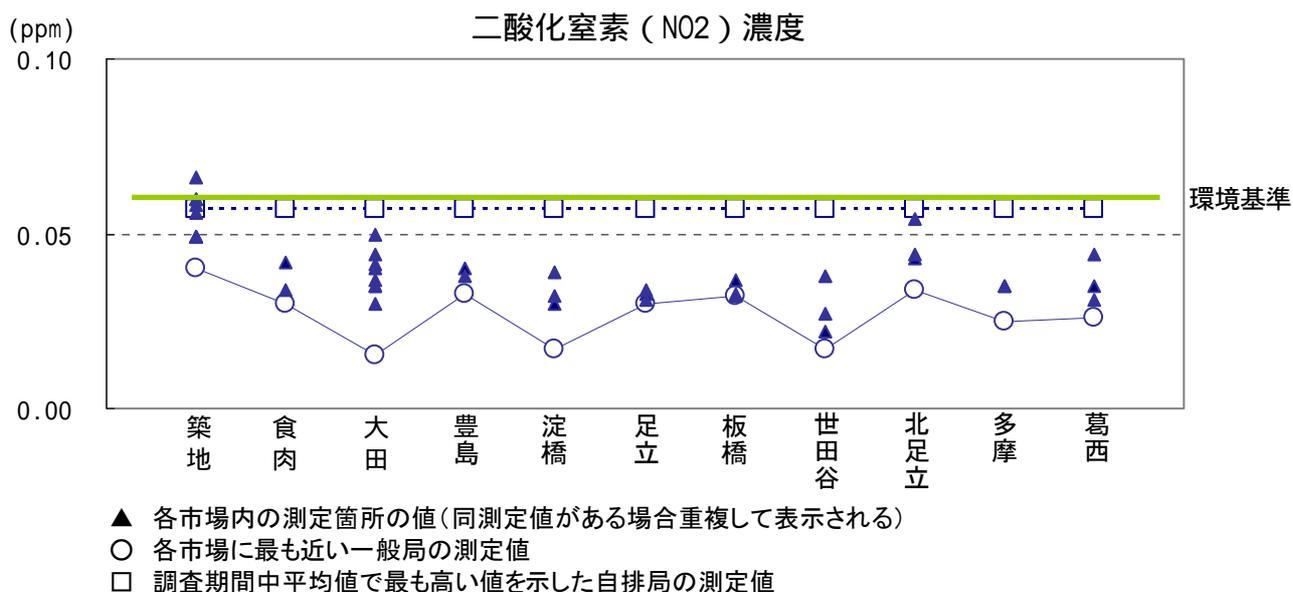
- (2) 常時監視測定局¹ (一般環境大気測定局・自動車排出ガス測定局)との比較
各市場から一番近い一般環境大気測定局 (以下「一般局」という。)及び調査期間中に最も高い値を示した自動車排出ガス測定局 (以下「自排局」という。)の測定値と各市場の測定結果の1日平均値 (測定期間中のうち最も濃度が高くなった日の1日平均値)とを比較しました。

¹ 東京都 (環境局) では、都内の大気汚染の状況を把握するため、24 時間大気汚染状況の監視を行っている。住宅地域などに設置している一般環境大気測定局 (一般局・47 局) と幹線道路沿道に設置している自動車排出ガス測定局 (自排局・35 局) がある。

全体として各測定物質とも、一般局を上回り、自排局の値を超えない傾向にあります。築地市場では半数以上の測定箇所、各測定物質が自排局を上回る値となっていました。また、一酸化炭素は一般局及び自排局を大きく上回る測定箇所がありました。

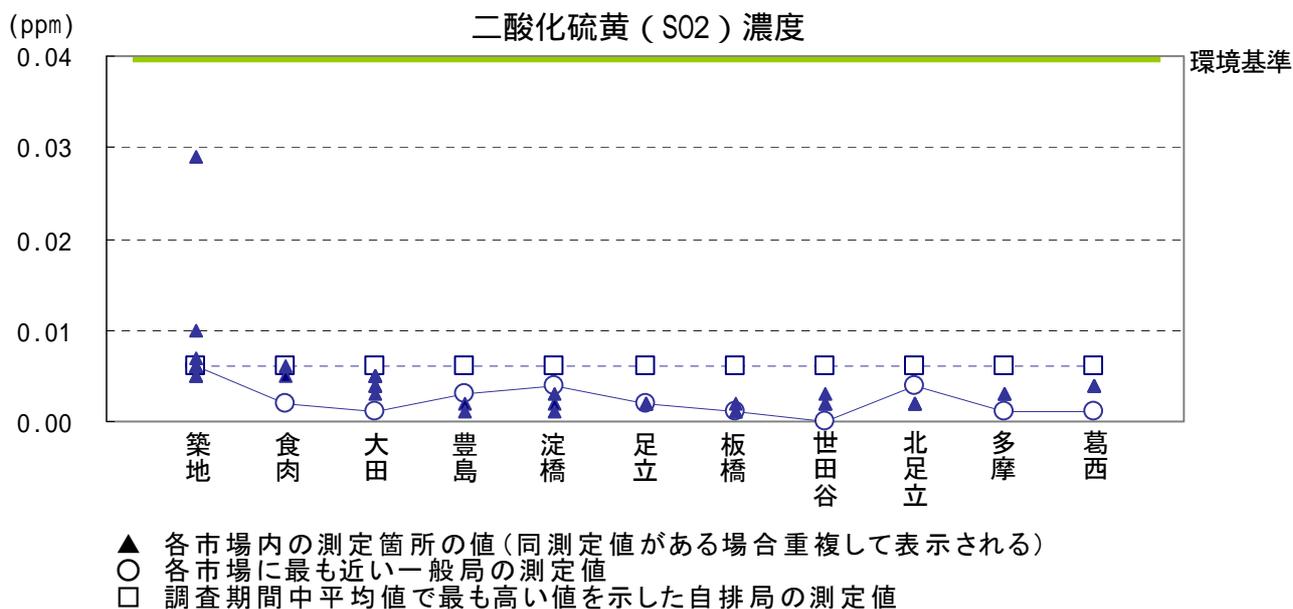
二酸化窒素 (NO₂)

各市場とも、全ての測定箇所、一般局の値を超えていました。築地市場では、8箇所中4箇所、自排局の値をも超えていました。



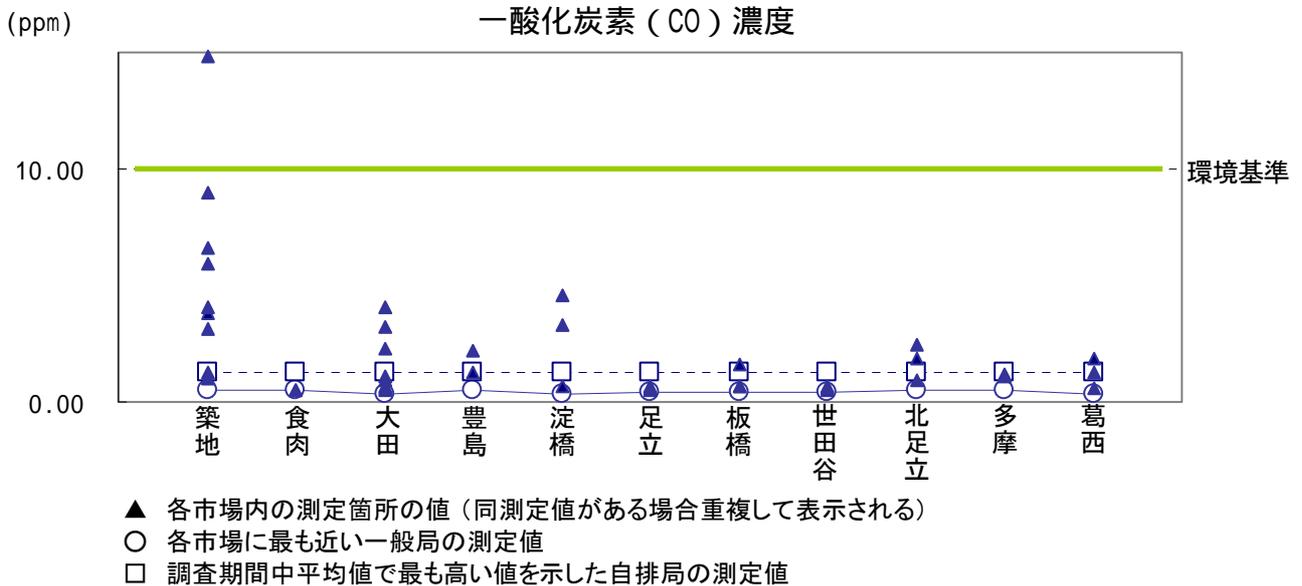
二酸化硫黄 (SO₂)

築地市場外 6 市場で、一般局の値を超えていました。築地市場では、8箇所中2箇所、自排局の値をも超えていました。



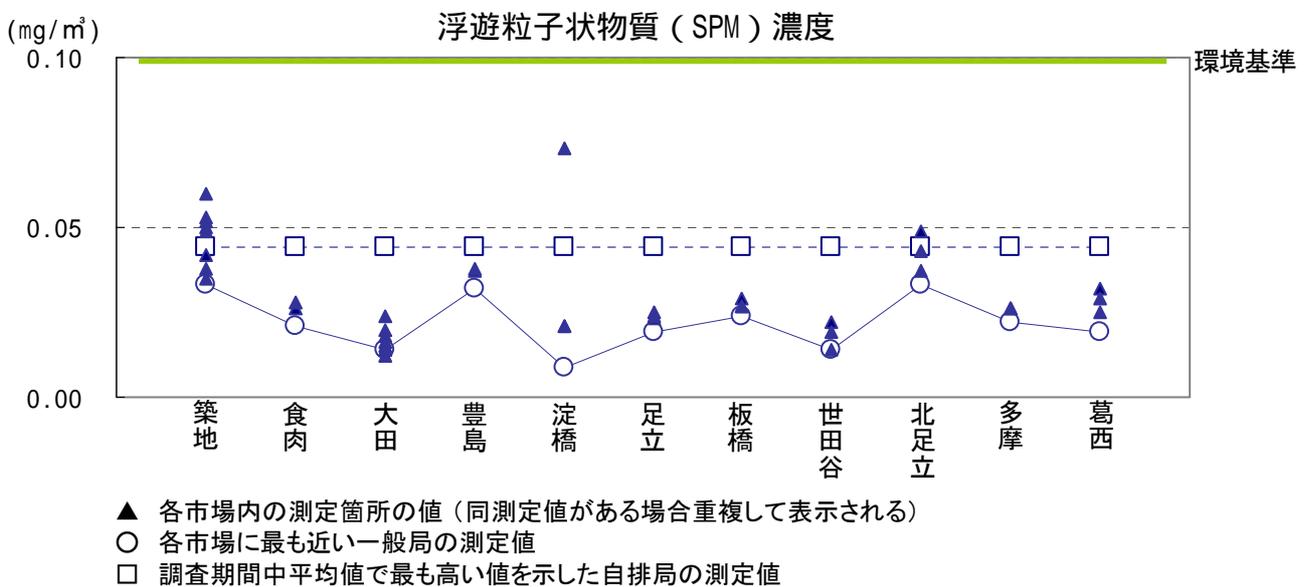
一酸化炭素 (CO)

食肉市場を除く、全ての測定箇所で一般局の値を超えていました。特に築地市場では一般局の20倍以上の値が8箇所中1箇所で検出されました。全市場では、40箇所中17箇所で自排局の値をも超えていました。



浮遊粒子状物質 (SPM)

全市場では、40箇所中36箇所で一般局の値を超えていました。また、40箇所中7箇所で自排局の値をも超えていました。



(3) 前回調査時との比較

前回は、平成17年1月から2月にかけて全市場を対象に、今回測定と同条件の下、ほぼ同一箇所(クリーンゾーンの調査箇所を除く。)で環境測定を実施しました。環境基準を超過した箇所数、及び各測定項目の濃度の平均値について、経年比較した結果は、次のとおりです。

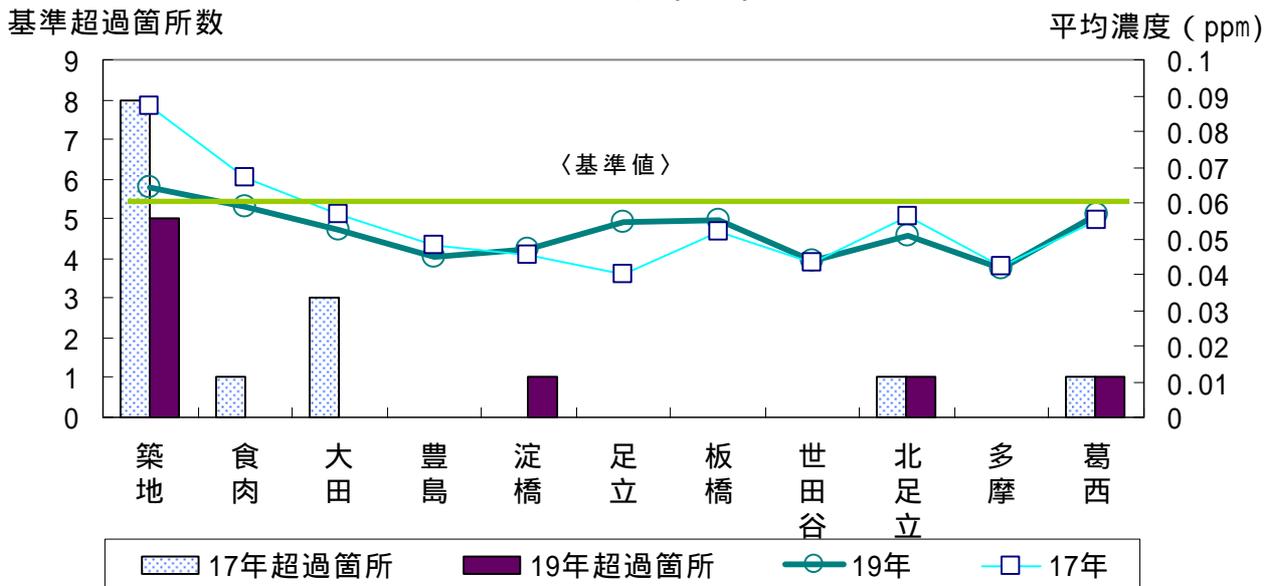
環境基準		二酸化窒素 (NO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)
市場		1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの範囲内又はそれ以下であること	1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ 1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/ m ³ 以下であり、かつ 1 時間値が 0.20mg/ m ³ 以下であること
築地市場	前回	8 箇所中 8 箇所 (1 日平均値) 0.062 ~ 0.127ppm	8 箇所中 6 箇所 (1 日平均値) 11.4 ~ 22.0ppm (8 時間平均値) 20.8 ~ 30.6ppm	8 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.112mg/ m ³
	今回	8 箇所中 5 箇所 (1 日平均値) 0.062 ~ 0.078ppm	8 箇所中 3 箇所 (1 日平均値) 10.6 ~ 23.2ppm (8 時間平均値) 28.4 ~ 30.3ppm	
食肉市場	前回	2 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.087ppm		
	今回			
大田市場	前回	9 箇所中 3 箇所 (1 日平均値) 0.061 ~ 0.065ppm		
	今回			
淀橋市場	前回			
	今回	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.063ppm		3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.104mg/ m ³
北足立市場	前回	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.066ppm		
	今回	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.061ppm		
葛西市場	前回	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.067ppm		
	今回	3 箇所中 1 箇所 (1 日平均値) 0.066ppm		
計	前回	5 市場 25 箇所中 14 箇所	1 市場 8 箇所中 6 箇所	1 市場 8 箇所中 1 箇所
	今回	4 市場 17 箇所中 8 箇所	1 市場 8 箇所中 3 箇所	1 市場 3 箇所中 1 箇所

全体として、全測定箇所の約6割で調査物質の濃度の低下が見られました。
 また、前回環境基準を超過した5市場14箇所のうち、3市場6箇所が基準を達成しました。しかし、淀橋市場1箇所で新たに基準を超過しています。

二酸化窒素 (NO₂)

基準を超過した市場と測定箇所は、前回の5市場14箇所から4市場8箇所に減少しました。濃度は足立市場を除き、概ね横ばい又は低減の傾向にあります。

二酸化窒素 (NO₂)

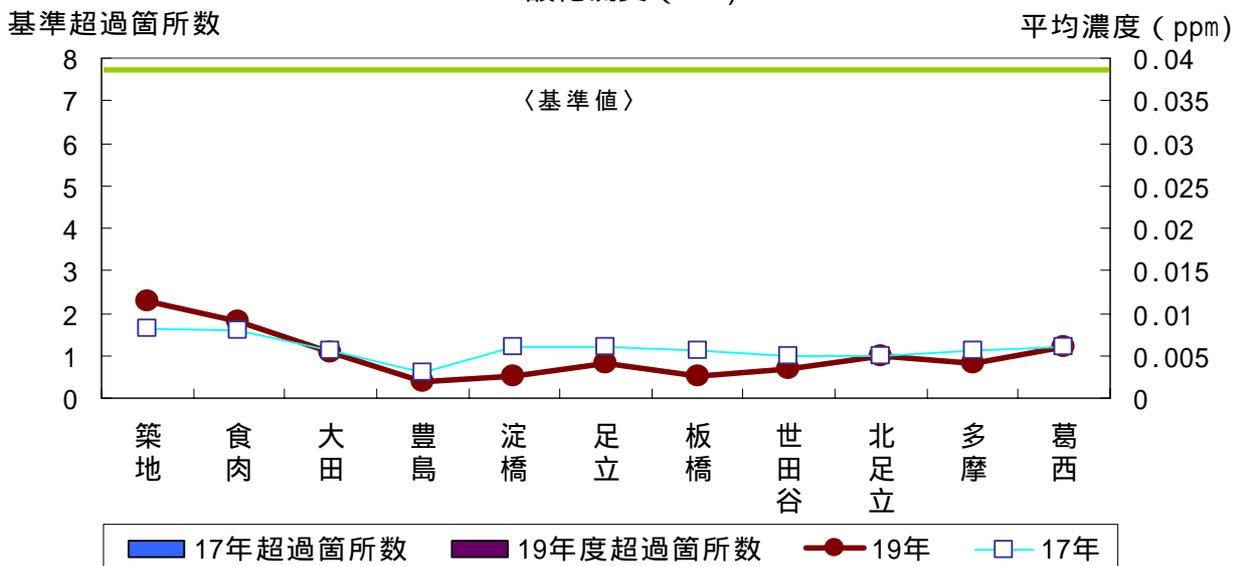


※ 各市場の測定値は各測定箇所の平均値

二酸化硫黄 (SO₂)

基準は前回・今回とも全市場で達成しました。濃度は、概ね横ばい又は低減の傾向にあります。

二酸化硫黄 (SO₂)

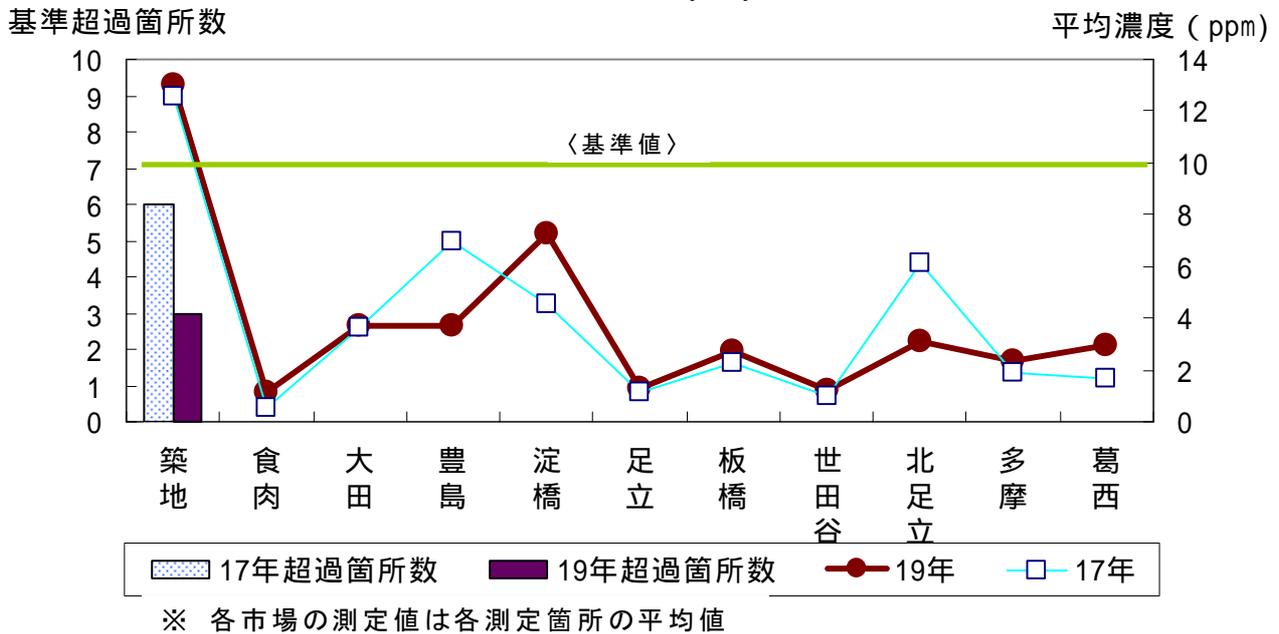


※ 各市場の測定値は各測定箇所の平均値

一酸化炭素 (CO)

基準を超過した築地市場の測定箇所は、前回の6箇所から3箇所に減少しました。濃度は淀橋市場を除き、概ね横ばいの傾向にあります。

一酸化炭素 (CO)



浮遊粒子状物質 (SPM)

基準を超過した市場と測定箇所は、前回・今回とも1市場1箇所ですが、築地市場が基準を達成し、淀橋市場が基準を超過しました。濃度は、概ね横ばいの傾向にあります。

浮遊粒子状物質 (SPM)

